

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

待ちに待った新米の時期だが、気になる情報も伝わってくる。国内では、兵庫県で初めて見つかった「ナガエツルノゲイトウ」。その後、生息範囲を拡

大、現在29都道府県で確認されている南米原産の「地球上最悪の侵略植物」。繁殖力はすさまじく、除去しても、ちぎれたわずかな茎から再生、水質汚染や生態系へ影響を及ぼす外来生物。もともとは観賞用のアクアリウムとして輸入されたものが、野外に出たまま繁殖して増え続けている。

長野県内での確認は現在されていないようだが、切れ端が用水と一緒に田んぼの中に入ってしまったと、稲刈り時に機械に入ってしまったと目撃まりしてしまつとの情報だ。効く

除草剤もあるが、水の所にかけても全く効果がなく、手で取るか重機で取り除くか今のところ方法がない厄介な外来植物なので関係者は事前に研修を重ね対応策を考えるべきだ。この問題は、農業だけ

兵器」の情報が多発している。今月9日に長崎市で生まれた平和式典で、地元出身の歌手福山雅治さんが24年を要して作詞作曲した2014年発表の楽曲「クスノキ」を爆心地

き、今や樹齢500年の大木に。希望と平和の象徴となった被爆樹木をモチーフとしたものだ。音楽に何か思いをのせたら無限に続いていくのだろうと、改めて音楽の力を感

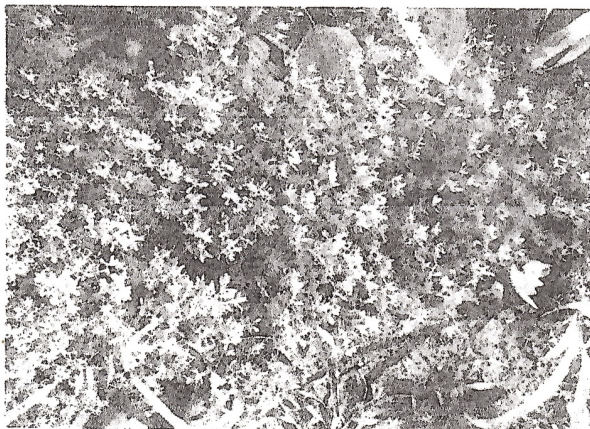
地球上最悪の侵略植物の侵入阻止には最大限の関心を

日本では連日猛暑だが、日本とは季節が逆

に限らず地域の生態系を維持していくためにも、多くの関係者が関心を持ってほしいと願っている。

広島・長崎に原爆が投下されて80年。世界各地で紛争が勃発する事態が続くためか「核

児童が合唱。涼風も爆風も五月雨も黒い雨もただ浴びてただ受けてただ空を目指し我が魂はこの土に根差し葉首で歌う生命の叫びを」の歌詞は、原爆で焼かれながらも2カ月後再び芽を吹



駆除に悩む「スベリヒユ」？極めて繁殖力が旺盛との知識を早期に知っていれば現況を防げたはずだ

ラリア気象局も「降雪量だけでなく範囲も広いため、今回の大雪は異常」とのコメント。来シーズンの大北地域への順調な降雪を期待してしまいが、広範囲

に降雪することで交通マヒなどの雪害がおきない事を望むばかりだ。
(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)